令和５年度　佐倉市立井野中学校グランドデザイン

千葉県の教育目標
（「次世代へ光輝く『教育立県ちば』プランより）」

ちばの教育の力で、
①志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる
②「自信」と「安心」を育む学校をつくる
③家庭と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境を整える
④世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る

佐倉市教育の目標
（「佐倉教育ビジョン」より）

①地域の教育力のさらなる向上と市民参加の促進
②豊かな心と学ぶ喜びに満ちた学校教育をめざす
③郷土への愛着を育み、進取の精神による新しい文化の創造をめざす
④教育環境を整え、多様な学習機会の提供をめざす

学校教育目標
自立・協働・貢献ができる生徒の育成

めざす学校像
地域の中に活きる学校

めざす生徒像
自他敬愛の心を持ち、共に努力しようとする生徒

めざす教師像
生徒の夢・志を育み、自己実現を支える教師

学習のめあて	生活のめあて	小中共通のルール
・進んで学ぶ ・繰り返し学ぶ ・共に学ぶ	・明るい挨拶 ・響く歌声 ・きれいな校舎 ・はつらつ健康 ・高い学習意欲	・挨拶を交わす ・目を見て話を聞く ・正しい言葉遣い ・時間を守る

本年度の重点目標
（１）ＩＣＴと生徒指導の機能を効果的に取り入れたわかる授業・魅力ある授業づくり
（２）確かな生徒理解に基づき、個々の状況やニーズに応じた親身な生徒指導
（３）生徒一人一人が互いの個性を認め合い、活躍できる集団づくり

学校経営方針と重点努力目標

【経営方針１】
全職員が学校経営に参画し、目標達成に向けて協力し合う職員集団をめざす。

【重点努力事項】
◇教育活動の目標を明確にし、全職員で共有するとともに、成果と課題を明確にして次の計画に繋げる。
◇学年・学級経営、教科経営、部活動経営の充実に努め、生徒の居場所づくり・絆作りを積極的に推進する。
◇組織的な研修を行い、専門職としての自覚・使命感と資質・能力を高める。
◇学校評価を効果的に実施し、学校の課題を明確化し、学校改善に活用する。
◇「働き方改革」への意識を強く持ち、前年度までの流れに拘らず、積極的な業務削減・業務改善を推進する。

【経営方針２】
生徒が確かな学力を身につけられるよう、授業力向上・授業改善に努める。

【重点努力事項】
◇研究主題と「佐倉市ＧＩＧＡスクール構想」に基づき、タブレットを含めたＩＣＴの活用を計画的に推進する。
◇生徒指導の機能を生かした授業を心がけ、生徒の意欲と主体性を引き出す。
◇ユニバーサルデザインの学習の視点を取り入れ、生徒個々に応じた「わかる」授業実践に努める。
◇学習規律の共通理解と徹底を図るとともに、全教科共通で授業の流れを確立し、ねらいや身についた力を明確にさせる。
◇指導と評価の一体化を工夫し、学習意欲や学習効果を高める。

【経営方針３】
生徒一人一人の思いや状況を感じ取り、親身に指導・支援する。

【重点努力事項】
◇生徒の頑張りを教職員間で共有するとともに、生徒の自己指導能力を高め、好ましい人間関係を育てる。
◇生徒指導部を核とし、生徒に寄り添った組織的な生徒指導・教育相談を行う。
◇「いじめ防止基本方針」に基づいた取組の徹底と生徒・保護者への周知を図る。
◇特別支援教育や教育相談の研修により、知識や専門性を高め指導力の向上を図る。
◇生徒個々の教育的ニーズを把握し、学習・生活上の課題解決や改善に向けた適切な支援を行う。
◇集団不適応生徒の支援体制を構築する。

【経営方針４】
生徒主体の活動や行事を推進し、心豊かで意欲的な生徒を育成する。

【重点努力事項】
◇自治的活動を推進し、学校行事や生徒会活動など可能な限り工夫して実施し、達成感や感動・感謝を全校で共有する。
◇３年間を見通したキャリア教育・進路指導を行い、人間としての在り方・生き方を踏まえた主体的な進路選択につなげる。
◇道徳科の授業や人権集会を通して、生命尊重や人権尊重を推進し、自他の違いを認め、互いを尊重する態度を育てる。
◇自ら健康の増進・体力の向上や危機回避に努める生徒を育成 する。

【経営方針５】
家庭・地域・学区小学校との連携により、信頼される学校つくりを行う。

【重点努力事項】
◇感染症拡大防止の制限解除後、可能な範囲において学校行事や授業を公開し、保護者や地域の学校理解につなげる。
◇学校配信メールの活用と、各種たより・学校ホームページを利用し、積極的に保護者への情報発信を行う。
◇本校から３小学校に働き掛け、９年間を見据えた小中連携を推進する。
◇ボランティア活動を推奨し、社会性と自己有用感を高めさせる。
◇保護者と連携し、家庭学習（自主学習ノート）の習慣化を図る。

「チーム井野中」のための行動指針（スローガン）

●職員のためのチームワーク　【目標達成に向けて声掛け協力し合う職員集団】
●生徒のためのフットワーク　【生徒を第一に考えた迅速・適切・丁寧な対応】
●学校のためのネットワーク　【家庭・地域・学区小学校との信頼と連携協力】

全ては子どもたちのために